


Introduction

～ まちの人紹介 ～



地域おこし協力隊（移住・定住促進支援員）

湯田 つばさ さん 

「たかささんの人に雄武町の魅力やあたたかさ伝えていきたいです。雄武町のお役に立てるように頑張ります」そう意気込むのは、江別市から移住し、4月から地域おこし協力隊移住・定住促進支援員として役場総合政策課で勤務する湯田さん。

出身は厚沢部町で、札幌の短期大学を卒業後、ホテルの宴会サービス部門や看護助手、エステティシャンなど、さまざまな職を経験し、幅広い知識と経験を培ってきたようです。

雄武町には、昨年の8月から毎月訪れていたとことで「移住ツアーに参加し、町の人と関わる中で、雄武町に住みたいという気持ちが強くなりました。ツアー最終日には、自分にとって雄武町の存在がとても大きいものとなり、本気で帰りたくないと思うほどでした。そんなとき、移住ツアーで町の魅力を多くの人に伝える仕事があると思いました。大好きな雄武町の話は日頃

からさまざまに人にしていたこともあり、それを今度は仕事として伝えたいと思い、地域おこし協力隊として雄武町に着任しました」と、その思いときっかけを話す湯田さんからは、雄武町に対する熱意が伝わってきました。

主な業務内容については「雄武町の魅力をたくさんの方に知ってもらい『住んでみたい』『また来たい』と思っていただけるような発信をしています。今後は、移住を考えている方の相談を受けたり、移住ツアーのサポート、SNSでの情報発信を通して、私自身が感じた町のあたたかさを伝えていきたいです」と笑顔で話してくれました。

最後に、休日の過ごし方を聞いてみると「雄武町のグルメを堪能したり、大好きなホテル日の出岬の温泉に通っています」とのことです。雄武町での生活を楽しんでいくようです。

湯田さんの今後の活躍が期待されます。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記 Editor's note

▼新年度が始まってから早いもので1か月が過ぎました。少しずつ新しい環境にも慣れてきた頃でしょうか。慌ただしかった4月を乗り越え、ほっと一息つけるのが5月のいいところかもしれません。連休明けは少し気が重くなることもあるかと思いますが、無理をせず、自分のペースで日々を過ごしていれば十分です。忙しさの合間にも、ちょっとした楽しみや休息を見つけながら、5月も乗り切っていきましょう。(館田)